

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 福岡県立香住丘高等学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒813-0003

福岡市東区香住ヶ丘1丁目26番1号

E-mail kasumigaoka-info@kasumigaoka.fku.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 435名 女子 708名 合計 1143名
幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

昭和60年福岡県下で初めて英語コースを設定した普通科高校として開校以来、国際理解教育推進のための教育実践を積み重ねてきた。特に英語科を中心に、平成15年度～17年度文部科学省からSELHi (Super English Language High School)の指定を受け、先進的な英語教育推進の為に先駆者的役割を担ってきた。さらに、平成23年度からSSH (Super Science High School)の指定を受け、科学技術分野において国際貢献できる生徒の育成を目指した実践研究を実施している。

グローバル化が急速に進み、国内外の諸問題が多様化・連鎖化していく中で、国際問題への理解をさらに深め、問題解決能力を身につけ、「福岡がめざす子ども」にも挙げられている、『「志」をもって意欲的に学ぶ』姿勢を持ち、自らの活躍の場をグローバルに展開し、持続可能な国際社会構築に貢献できる人材を養成するためには、学校全体としてさらなる取り組みが必要と考える。

本校で創設以来実践されてきた国際理解教育は本校が持つ他校にない貴重な財産である。またこれは、ESD およびユネスコスクールの共通テーマともなっている。これを本校の主たるテーマに据え、ユネスコスクール活動を展開し、その成果を職員、生徒、保護者と共有すると同時に、学校の特徴的教育活動として外

部に積極的に発信し、本校の魅力アピールの手立てとする。また国内外のユネスコスクールとの連携を深めることで、国際社会において自身の果たしうる役割について自覚を深めさせ、あわせて、伝統文化や地域の歴史に対する教育を推進することで、自己の確固たるアイデンティティに立脚し、且つ他国の歴史や文化に対する正しい理解や敬意を持った、真の国際人育成を目指す。

① 香煌祭（文化祭）

日 時：平成29年5月26日（金）・27日（土）

場 所：福岡県立香住丘高等学校

内 容：諸外国についての自由研究・発表

② 芸術鑑賞

日 時：平成29年6月9日（金）

場 所：博多座

参加者：第二学年

内 容：歌舞伎鑑賞

③ 海外派遣留学

日 時：平成29年8月3日（木）～12日（土）

場 所：ニュージーランド

参加者：19名（第一，二学年希望者）

内 容：ホームステイ，現地校の学習プログラムに参加

④ 海外修学旅行

日 時：平成29年10月13日（金）～18日（水），
14日（土）～19日（木）

場 所：オーストラリア，シンガポール

参加者：第二学年

内 容：ファームステイ

⑤ オーストラリア総領事講演会

日 時：平成29年12月12日（火）

場 所：福岡県立香住丘高等学校

参加者：第二学年

講演者：イアン・ブレイジア氏（在福岡オーストラリア総領事館 総領事）

⑥ 留学生受入

訪問者：アメリカ・オークランド（7名），アメリカ・アトランタ（1名），
マレーシア・イポー（8名）

内 容：ホームステイ受け入れ



③ 海外派遣留学



④ 海外修学旅行

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 学校行事, 夏季休暇中)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

使用していない

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクールとしての活動が充実し、資質・能力の育成が効果的なものとなるように、各活動に対して事前指導から事後指導までを継続的かつ計画的に位置付けている。3活動内容（1）活動の概要に示した①～⑥の具体的活動については、

- ①②⑤ 学校行事
- ③ 夏季休暇中
- ④ 総合的な学習の時間
- ⑥ 教科の時間

を主な活動時間に割り当て、各活動が国際理解教育として一貫性をもつように適切な時期に実施している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校内組織においては、ユネスコ委員会を設置し、多くの校務分掌やその教員がユネスコスクールの活動に関わるようにしている。それにより、学年や教科の枠組みを超えて全教員で実施できる体制をとっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

平成29年度は、3活動内容（1）活動の概要に示した具体的な活動に対する内部評価として、各活動実施後に各種アンケート調査を実施している。自己の活動を振り返る項目を入れることにより、参加生徒の変容を明らかにしている。いずれの活動においても本校が育むべき資質・能力であるコミュニケーションを行う力の育成に大きな効果を上げている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校ホームページにユネスコスクールに関する活動内容の記事を掲載している。中でも国際理解に関するページは外部からの閲覧が多く、保護者や地域の中学生などに対する広報としての効果が高い。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

平成29年度は実施していない。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

平成29年度は実施していない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

生徒の国際理解に対する興味・関心がよりいっそう高まり、外国語・国際関係学の大学学部に進学する生徒が多い。また、理系学部進学者においても国際的に活躍できる技術者や研究者になることを希望している生徒が多くなっている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

年間を通して国際理解教育を実施し、また全国規模で実施されるユネスコスクールのイベントに積極的に参加を呼びかける。また、本校が独自で実施している具体的活動としては、

① 香煌祭（文化祭）

平成30年6月1日（金）・2日（土）

② 芸術鑑賞

平成30年6月25日（火）

③ 海外派遣留学

平成30年8月2日（木）～11日（土）

④ 海外修学旅行

平成30年10月10日（水）～15日（月）

11日（木）～16日（火）

に実施予定である。